

# 千葉支社の安全無視-NEX優先を追及

## 成田駅での列車運行指示の問題で団交 (2/9)

昨年一月二十六日、成田駅で発生した発火事件にともなう列車の運行に関して、指令の指示等に重大な問題点があったことから、動労千葉申第五号に基づいて、二月九日、千葉支社において団体交渉が行なわれた。

### 安全確保よりもNEXを優先!

一月二十六日の成田駅での発火事件及び列車の運行に関する時間経過は別表のとおりとなっている。(千葉支社回答)

この中で指令は、発火事件が発生した当該列車の1497Fの運転士が、車両の一部が焼損しこれ以上の運行が不能であり、乗客の安全確保が優先するとの判断から即刻一番線への退行・収容を要請したにもかかわらずこれを拒否し、NEX(2034M)の通過を優先させたのだ。また、NEXを通過させるにあたって、1497Fが防護無線を発報しているにもかかわらず「注意して進行しろ」などと全く規定に違反した指示が行なわれていたのだ。

### 収容要請を無視

一七時三三分に成田一番線を発車後すぐに発火事件が発生し、四一分には運転士から運行不能である旨を指令に報告し、さらに五一分には一番線への「退行」を要請している。しかし、指令はこれを全く無視し、「2034Mを先に通過させる」と一方的に通告し、この後運転士から

の呼び出しに一切応じなかったのだ。しかも、五八分には指令から1497Fの最後部がクリアランスを通過しているかを確認するようにとの指示があるなど、乗客などの安全を確保するよりもNEXの運行を最優先させたのだ。

こうした事件等が発生した場合本来は、列車を収容して乗客等の安全確保を最優先するのが鉄道会社としてまずとるべき対策であるはずだ。

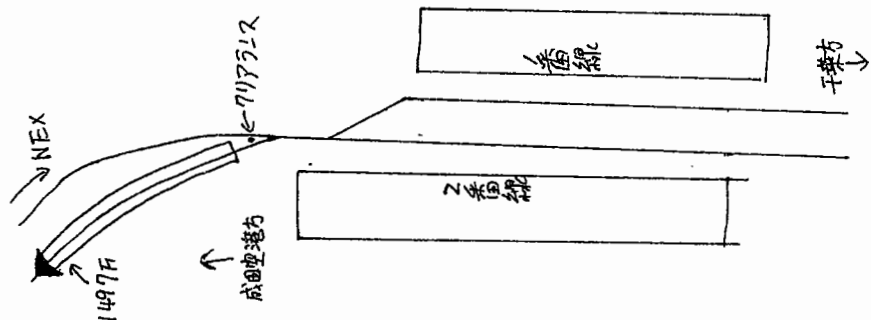
しかも、NEXが成田空港駅を発車したのが一七時四九分頃(五分遅れで発車)であることから、1497Fのクリアランス通過を確認する以前に発車させていることから、NEXの通過を優先させるという判断が先にあつたことは確実だ。

今のJRは、営利を優先するあまり安全を優先するという感覚すら全く無くなつてしまつてゐるのだ。

### 安全も確認せずNEXを通過?

NEXを通過させるにあつて、成田駅第二場内信号機以前で指令から「通過」する旨の通告を受けた後、防護無線により1497Fの先頭車両から約一〇メートル手前で停車した。しかし、指令からは「この先注意で進行するように」との指示が行なわれているのだ。当然運転士からは防護無線が発報されているので進めないと回答したにもかかわらず「注意で行つてくれ」と指示が行なわれているの

だ。他の線区を走っているのならまだしも、防護無線を発報している当該列車のすぐ脇を通過させるなど、暴挙としかいえないような指示だ。千葉支社は、この点について「適切な指示ではなかった」としているが、動労千葉はこうした千葉支社の対応について嚴重に抗議するとともに、今後は乗客等の安全確保を優先することを強く要請し、団交を終了した。



#### 成田駅での列車運行指示の経過

- 17:32 1497F成田駅1番線発車
- 34 発火事件発生 車内がで停車
- 41 1497F運転士「運行不能」を指令に連絡
- 50 千葉支社対策本部を設置
- 51 1497F運転士「列車の退行」を要請
  - ・この時点で「NEXを通過させる」との指示
- 58 指令から1497Fへ「クリアランス確認」の指示
  - ・2メートル位通過しているが安全に通過できるか「分からない」と報告
  - ・指令の指示で防護無線発報
  - ・NEXが1497Fの10メートル手前で停車
- 18:08 1497F下り方に小移動
  - 12 NEXに指令から「15km/hで通過」を指示
  - ・成田駅から1497Fに「引込鎖錠」の連絡
  - 28 引込鎖錠終了
  - 34 1497F成田駅1番線に収容